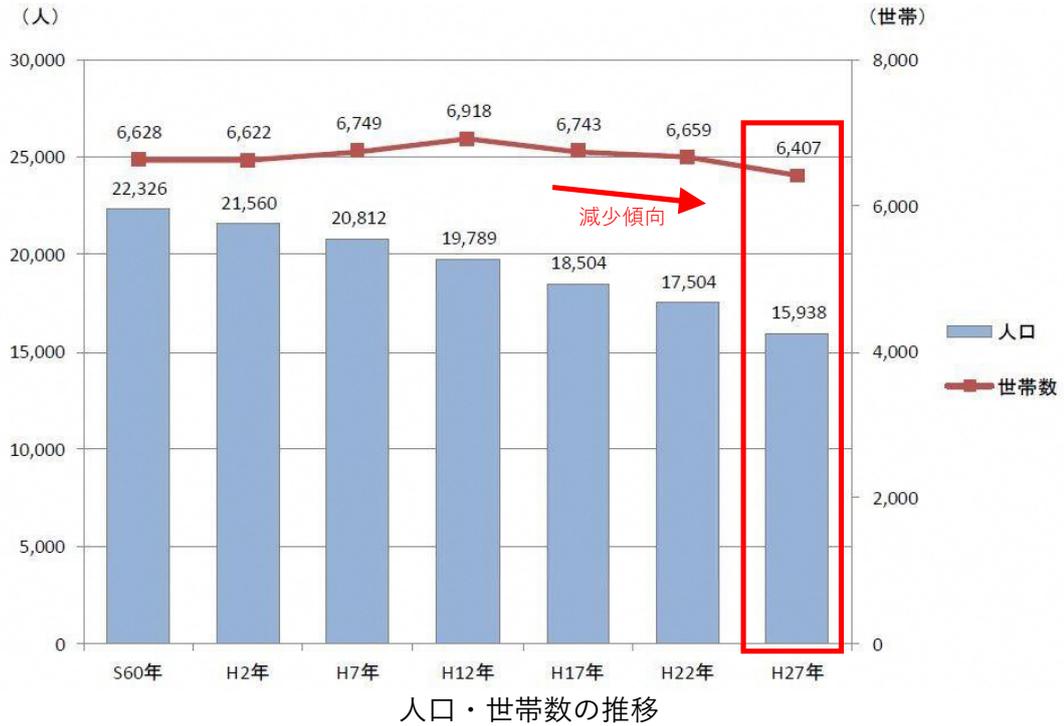


人口・世帯の状況（人口の推移）

岬町の人口は平成27年時点で15,938人となっており、年々減少が続いています。

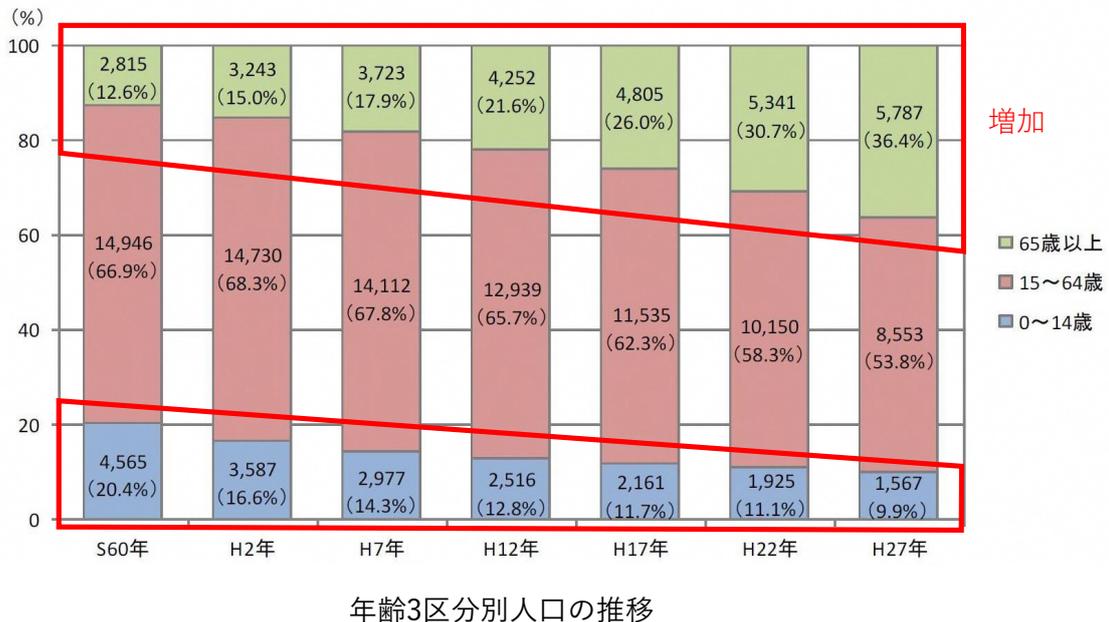


出典：国勢調査（各年）

現況整理-資料番号[2]

人口・世帯の状況（人口構造）

年少人口と生産年齢人口の割合が減少している一方、老年人口の割合は増加しています。65歳以上の人口が36.4%、年少人口は9.9%となっており、少子高齢化が進行しています。



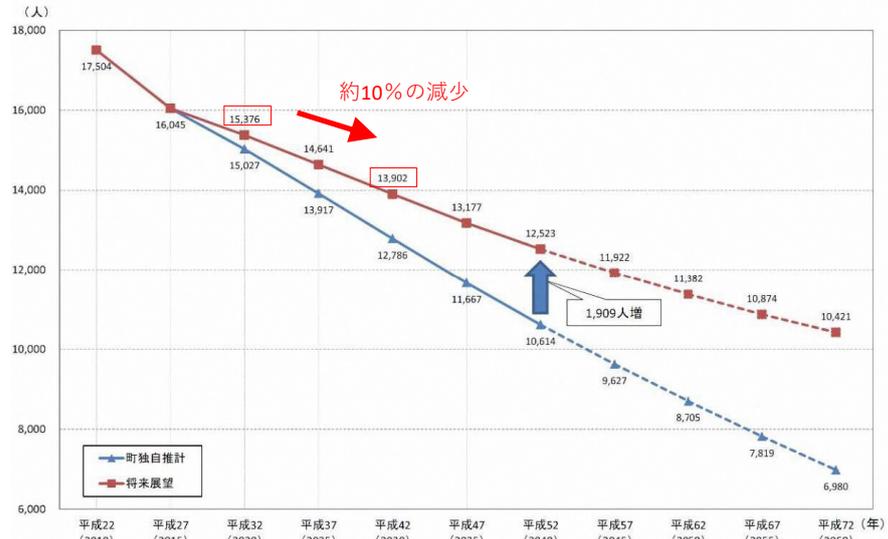
出典：国勢調査（各年）

現況整理-資料番号[3]

人口・世帯の状況（人口の将来展望）

「岬町人口ビジョン」では、本町の人口の現状を分析するとともに、将来展望を示しています。

人口ビジョンの目標年である平成52（2040）年には、10,614人となることを見込まれ、2020年から2030年にかけて人口が約10%減少することが予想されています。



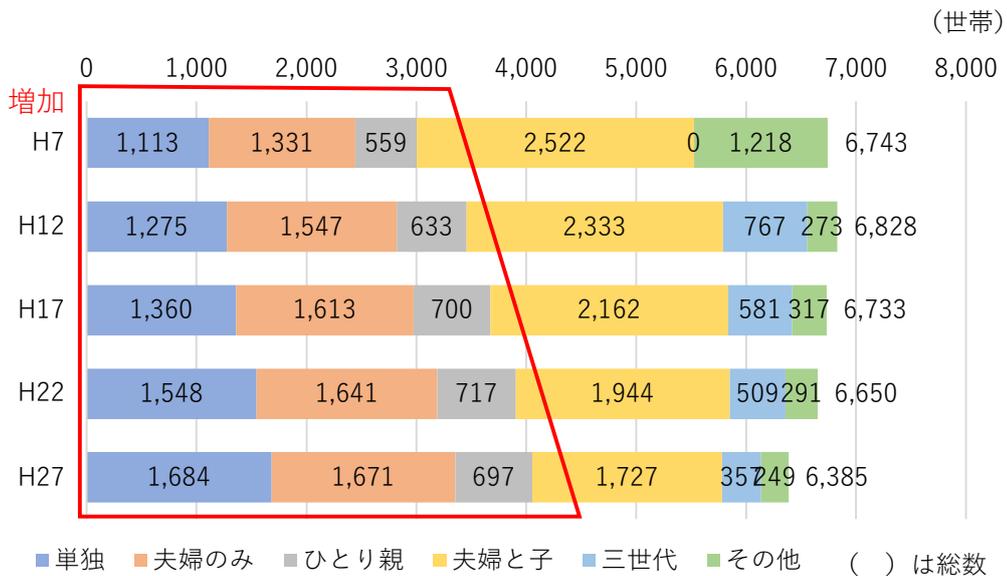
将来展望人口

出典：岬町資料（岬町人口ビジョン）

現況整理-資料番号[4]

人口・世帯の状況（家族類型別世帯数）

単身・夫婦のみ・ひとり親世帯が増加傾向にあり、その他の夫婦と子、三世帯等の世帯が、世帯全体を見ると減少傾向となっています。



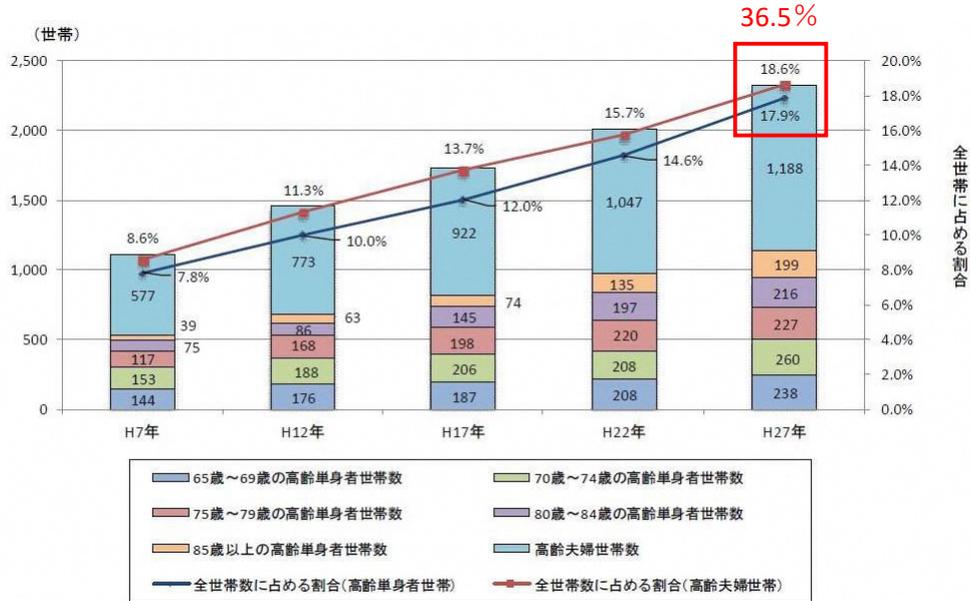
家族類型別世帯数の推移

出典：国勢調査（各年）

現況整理-資料番号[5]

人口・世帯の状況（高齢単身者世帯数及び高齢夫婦世帯数）

平成27（2015）年における65歳以上の高齢者のいる世帯は全世帯の58.8%となり、2世帯に1世帯は高齢者がいる状態となっています。



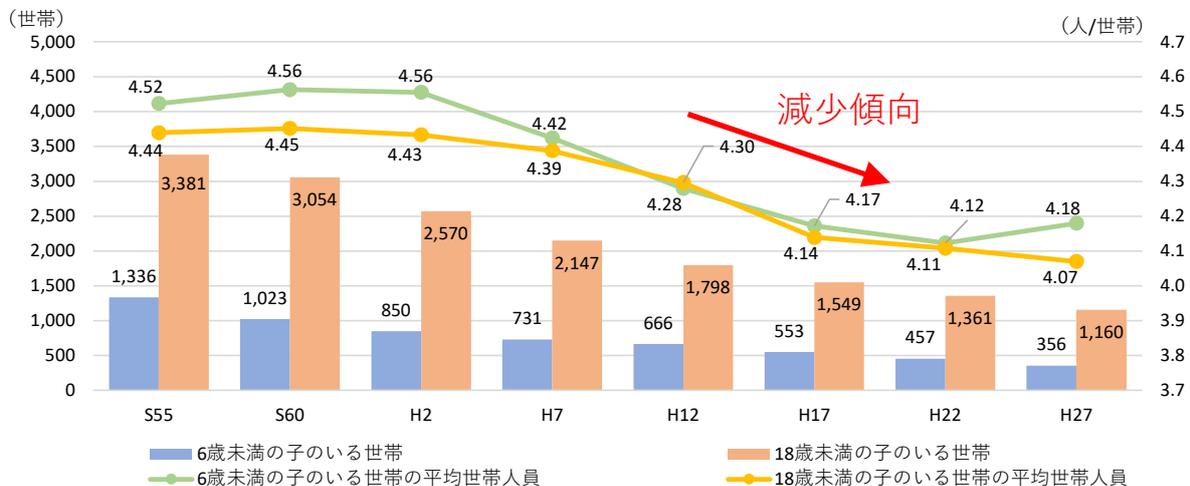
高齢者世帯数の推移

出典：国勢調査（各年）

現況整理-資料番号[6]

人口・世帯の状況（子育て世帯）

平成27（2015）年における6歳未満の子のいる世帯、18歳未満の子のいる世帯が減少しています。また、平均世帯人数も減少傾向にあります。



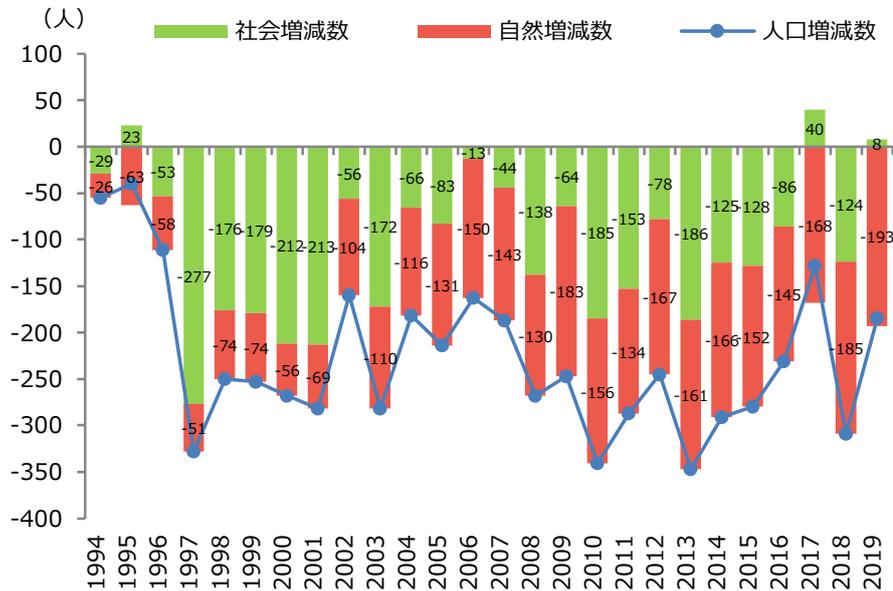
子育て世帯の推移（世帯数・平均人員）

出典：国勢調査（各年）

現況整理-資料番号[7]

人口・世帯の状況（自然増減・社会増減）

社会動態・自然動態ともに減少が続いています。



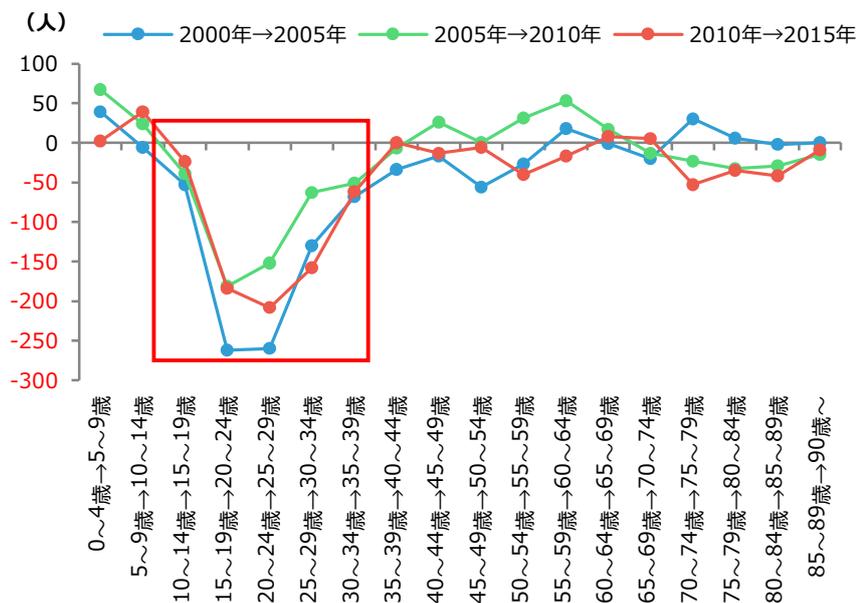
自然増減・社会増減の推移

出典：「RESAS（地域経済分析システム）-人口推移-」（<https://summary.resas.go.jp/summary.html>）（令和3年6月8日に利用）
住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

現況整理-資料番号[8]

人口・世帯の状況（年齢階級別純移動数の時系列推移）

2010年→2015年にかけて10代後半～40代未満が減少しており、他市町村へ転出していることが予想されます。



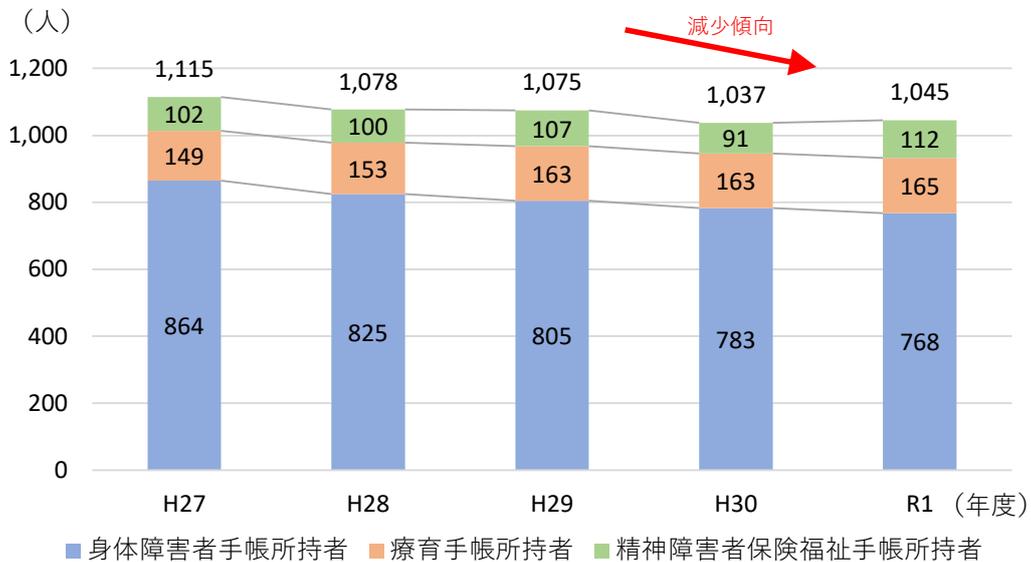
年齢階級別純移動数の時系列推移

出典：「RESAS（地域経済分析システム）-人口推移-」（<https://summary.resas.go.jp/summary.html>）（令和3年6月8日に利用）
国勢調査（各年）、「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

現況整理-資料番号[9]

人口・世帯の状況（障がい者の状況）

その他、障がい者数の推移は減少傾向にあり令和元年度には1045人となっています。



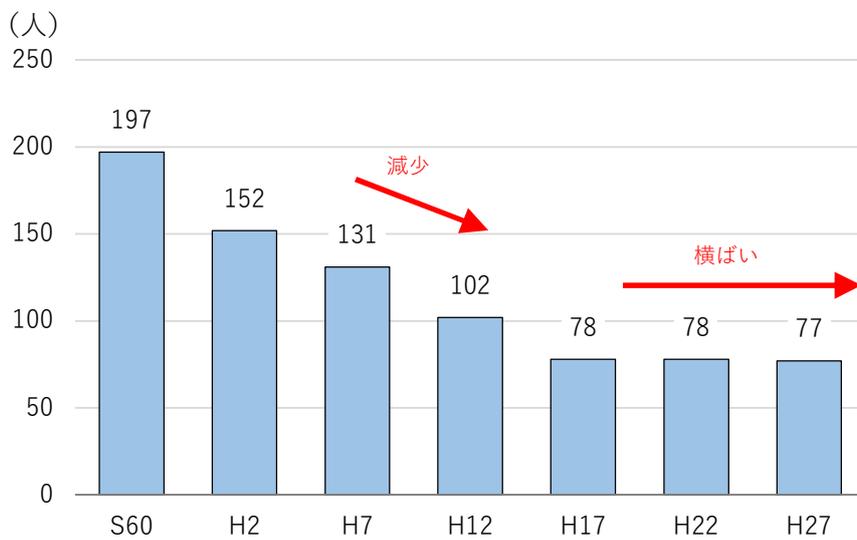
障害者手帳所持者の推移

出典：第4次岬町障害者基本計画・第6期岬町障害福祉計画・第2期岬町障害児福祉計画 p.12～14

現況整理-資料番号[10]

人口・世帯の状況（外国人の状況）

外国人数の推移はおおむね横ばいであり、平成27年には77人となっています。



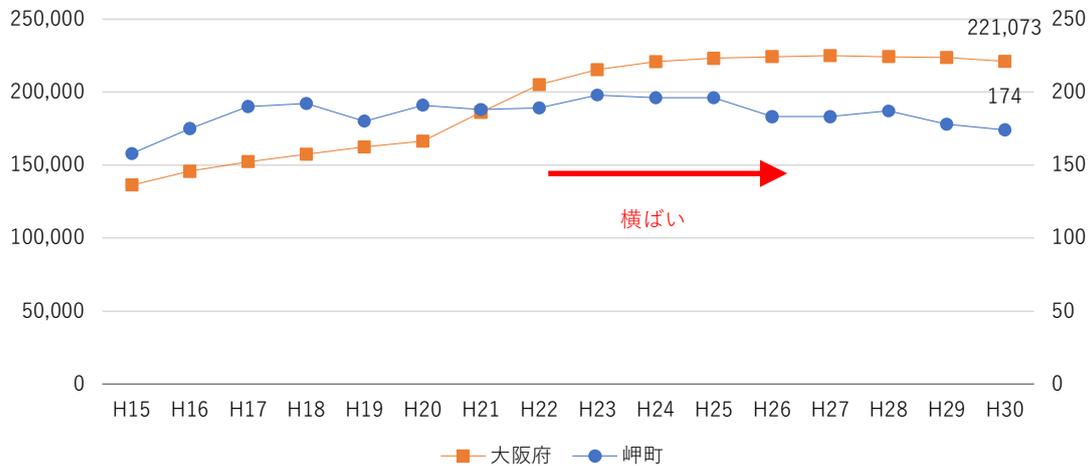
外国人数の推移

出典：国勢調査（各年）

現況整理-資料番号[11]

人口・世帯の状況（生活保護世帯数の状況）

生活保護受給者数の推移は減少傾向であり、令和2年度には174世帯となっています。



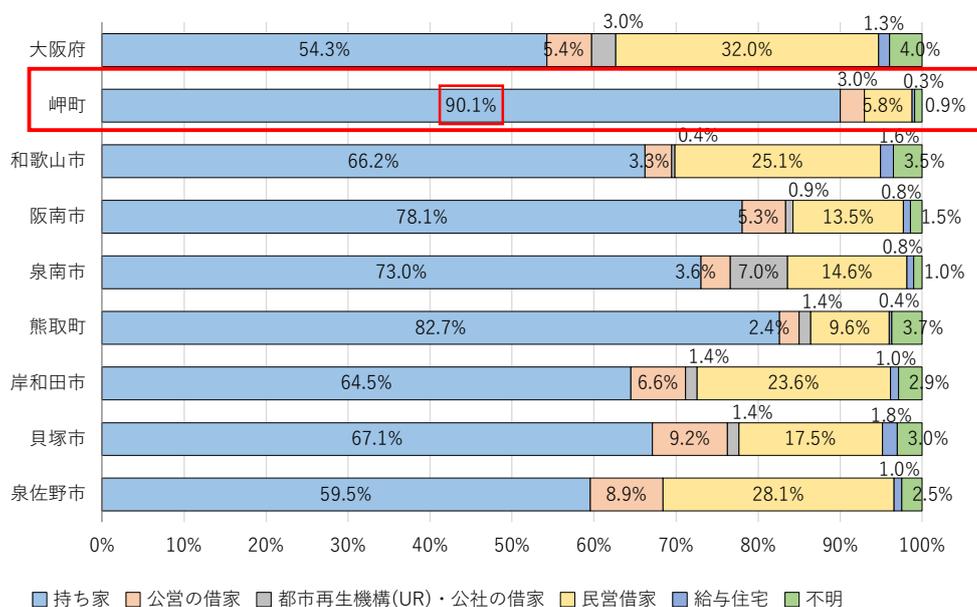
生活保護受給者数の推移

出典：大阪府統計年鑑（各年）

現況整理-資料番号[12]

住宅の状況（所有形態）

岬町の住宅は約90%が持ち家であり、大阪府や近隣市町と比較しても高い割合となっています。



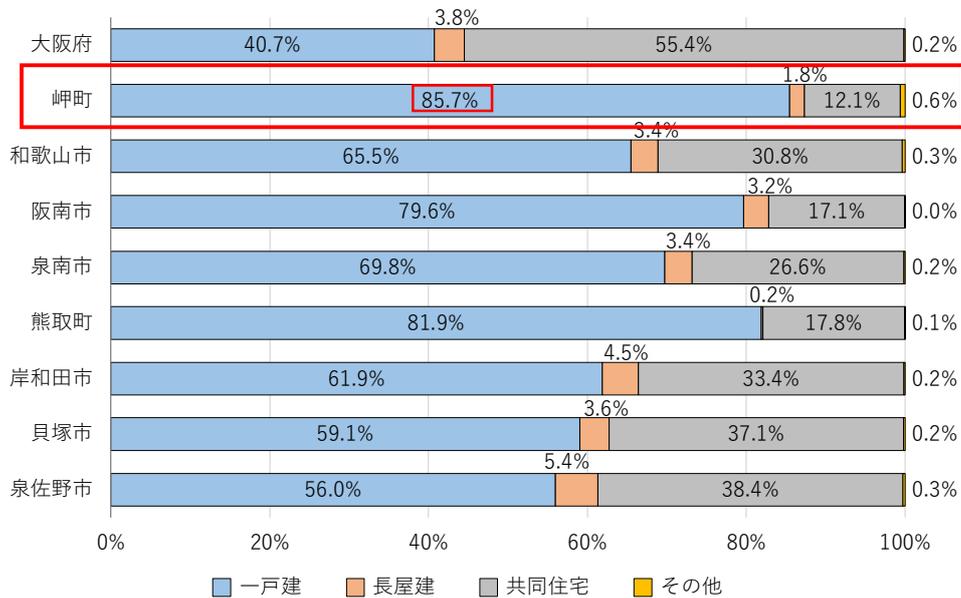
所有関係別住宅数の割合の推移と比較

出典：平成30年住宅・土地統計調査

現況整理-資料番号[13]

住宅の状況（建て方）

建方の状況を見ると、85.7%が一戸建てとなっており、大阪府や近隣市町と比較しても高い割合となっています。



建て方別住宅数の割合の推移と比較

出典：平成30年住宅・土地統計調査

現況整理-資料番号[14]

住宅の状況（住宅総数及び空き家の状況）

住宅総数は平成30年時点で8,030戸あり、このうち17.9%（1,440戸）が空き家となっています。

大阪府と比較して、空き家が2.7ポイント高くなっています。

本町の住宅総数（平成30年）

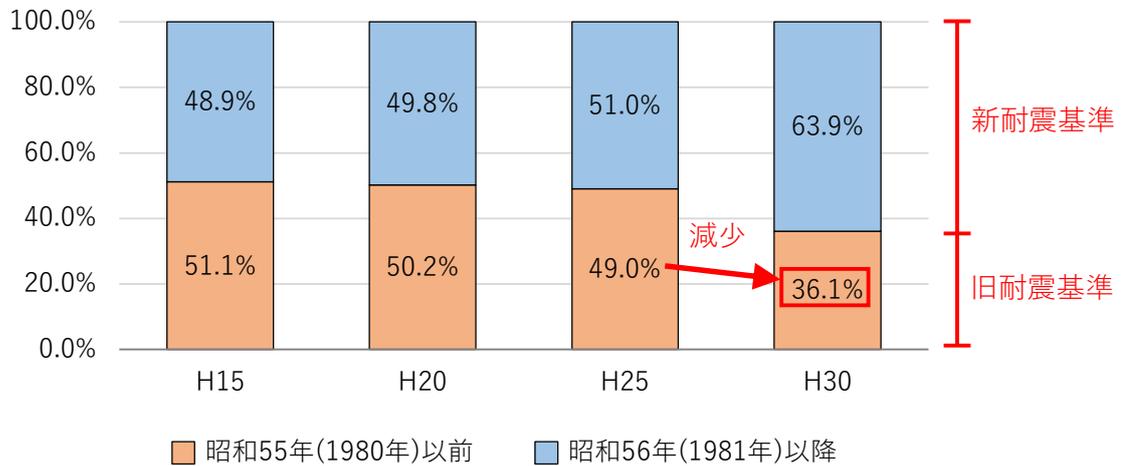
		居住世帯	居住世帯なし		住宅総数
		あり	空き家	他	
岬町	住宅数	6,520	1,440	70	8,030
	割合	81.2%	17.9%	0.9%	100.0%
大阪府	住宅数	3,949,600	709,400	21,200	4,680,200
	割合	84.4%	15.2%	0.5%	100.0%

出典：平成30年住宅・土地統計調査

現況整理-資料番号[15]

住宅の状況（建築時期住宅数の推移）

建築時期については、旧耐震基準の建物は減少しているものの、近隣と比べて古い建物の割合が多くなっています。



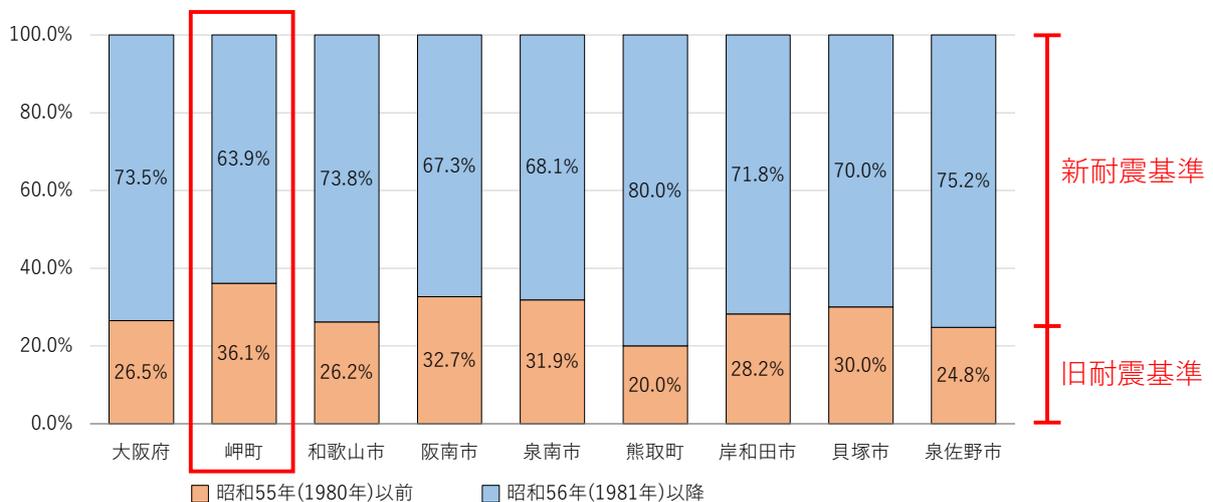
住宅の建築時期別割合の推移

出典：住宅・土地統計調査（各年）

現況整理-資料番号[16]

住宅の状況（建築時期住宅数の比較）

建築時期については、旧耐震基準の建物は減少しているものの、近隣と比べて古い建物の割合が多くなっています。

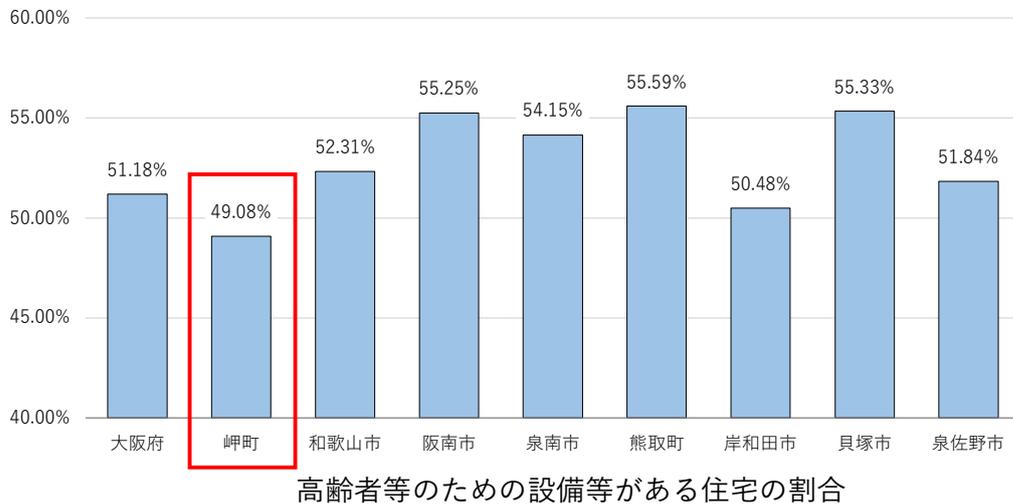


出典：平成30年住宅・土地統計調査

現況整理-資料番号[17]

住宅の状況（高齢者等のための設備設置の状況）

平成30（2018）年における高齢者等のための設備等がある住宅について、大阪府及び近隣市町と比べると、岬町の割合は低くなっています。

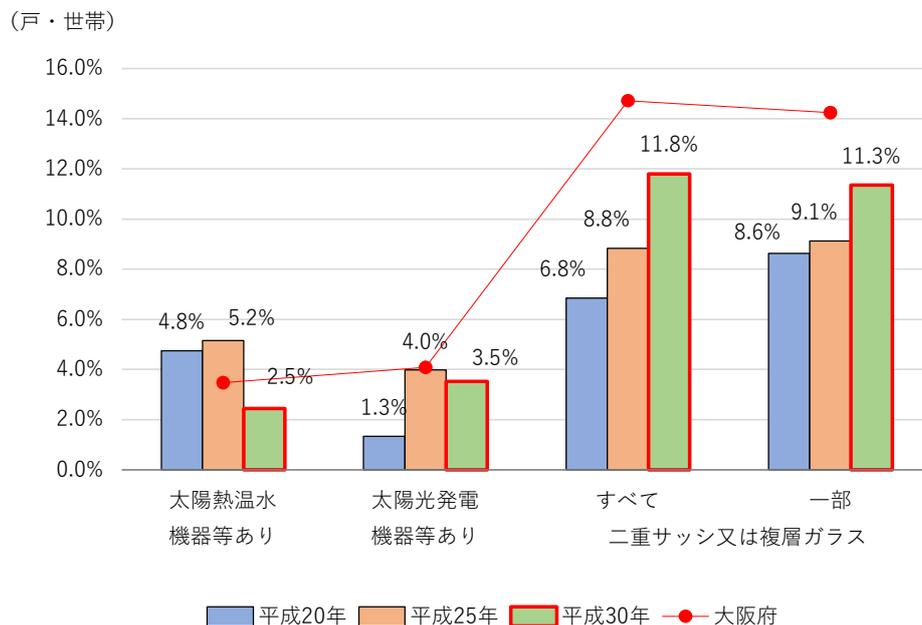


出典：住宅・土地統計調査（各年）

現況整理-資料番号[18]

住宅の状況（省エネルギー設備の設置状況）

平成30（2018）年における省エネルギー設備の設置状況は、平成20年と比べると太陽熱温水機器等を除き、割合が増加しています。

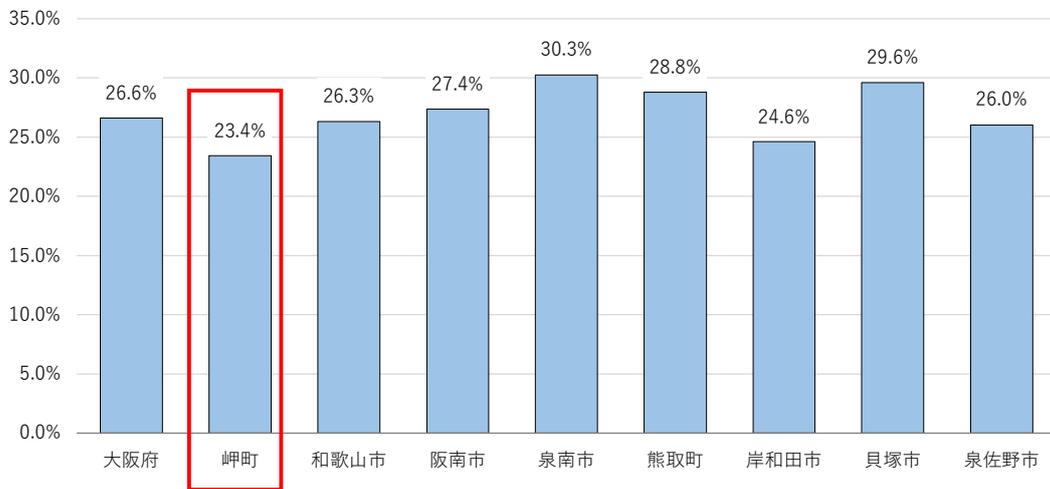


出典：住宅・土地統計調査（各年）

現況整理-資料番号[19]

住宅の状況（増改築及び改修工事の状況）

平成30（2018）年の持ち家におけるリフォーム実施率の比較を見ると、大阪府及び近隣市町と比べても低い割合となっています。



持ち家におけるリフォーム実施率の比較

出典：住宅・土地統計調査（各年）

現況整理-資料番号[20]

公的賃貸住宅の状況

公共賃貸住宅一覧表

共賃貸住宅一覧表

資料：岬町・大阪府

団地名	建設年度	管理棟数(棟)	管理戸数(戸)	構造	住戸専用面積(m ²)	住戸形式
淡輪住宅	S29	6	6	木造	34.7	2K
深日小池谷住宅	S27	1	1	木造	28.0	2K
緑ヶ丘住宅	H27	1	16	高層耐火	42.93	1DK
			24		52.25	2DK
			16		62.38	3DK
			7		72.85	3LDK
			15		42.93	1DK
	H29	2	1	42.93	2K	
			24	52.25	2DK	
			16	62.38	3DK	
			7	72.85	3LDK	
			16	69.9	3LDK	
多奈川小田平住宅	S57	8	16	低層耐火	69.9	3LDK
	S59	4	8			
	S63	5	10			
	H1	16	32			
	H8	5	10			
多奈川平野北住宅	S61	17	34	低層耐火	72.1	3LDK
	S63	3	6		69.9	3LDK
	H6	4	8		72.1	3LDK
	H7	6	12			
	町営住宅合計		78		269	
岬深日住宅	S47	1	40	中層耐火	47.0	3DK
		1	5		65.5	3LDK
		25				
		5				
		15				
1	30	57.5	3SK			
府営住宅合計		4	120			

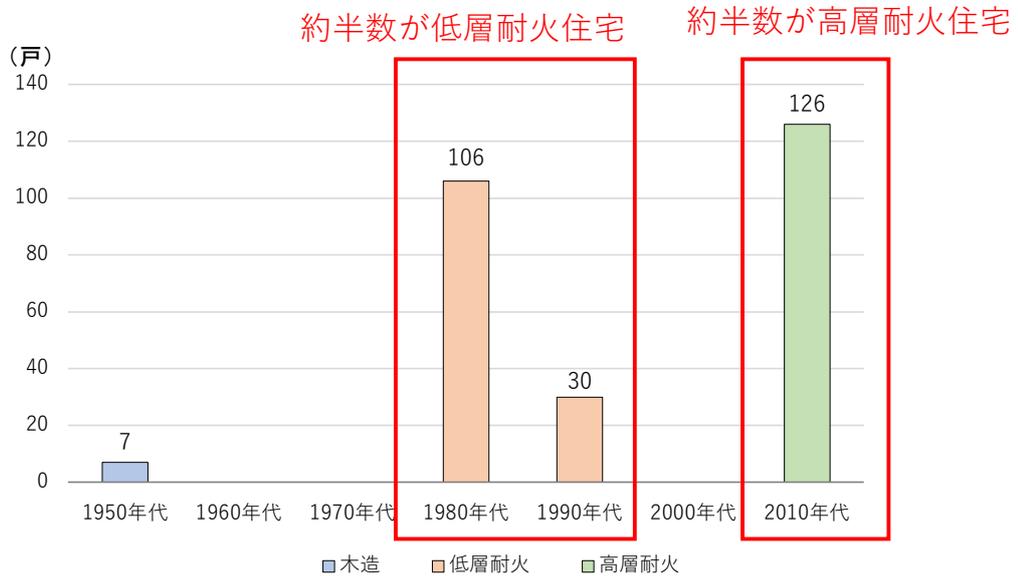
出典：岬町・大阪府資料

現況整理-資料番号[21]

公的賃貸住宅の状況（建設時期と戸数）

岬町には令和3年4月時点で、町営住宅が269戸、府営住宅が120戸あります。

町営住宅のうち、耐用年数のある住宅が多くを占めています。



建設時期と戸数の状況

出典：岬町資料

現況整理-資料番号[22]

公的賃貸住宅の状況（入居者数）

町営住宅の入居率は、どの住宅においても9割を超えています。

町営住宅入居者数の状況（2021年5月時点）

団地名	区分	管理戸数	入居戸数	入居率
淡輪住宅	公営	6	6	100.00%
深日小池谷住宅	公営	1	1	100.00%
緑ヶ丘	1号棟	63	61	96.83%
	2号棟	31	29	93.55%
	3号棟	32	30	93.75%
緑ヶ丘住宅合計	公営	126	120	95.24%
多奈川小田平住宅	改良	76	72	94.74%
多奈川平野北住宅	改良	60	55	91.67%
合計		269	254	94.42%

出典：岬町資料

現況整理-資料番号[23]

公的賃貸住宅の状況（募集と応募の状況）

応募倍率の状況を見ると、令和2年度の応募倍率は一般世帯において2倍と、一定の需要がうかがえます。

募集と応募の状況

	H29	H30	R1	R2
延べ募集戸数	102	20	10	22
申込数	37	30	5	19
応募倍率	0.4	1.5	0.5	0.9

募集と応募の状況（募集対象別）

	H29	H30	R1	R2
一般世帯	0.7	1.4	1.5	2.0
新婚・子育て世帯	0.2	0.9	0.3	0.2
福祉世帯	-	4.0	-	-
共通	-	1.0	-	-

出典：岬町調査

現況整理-資料番号[24]

公的賃貸住宅の状況（世帯人員）

入居世帯は1人世帯が58.6%、2人世帯は23.3%で合わせて81.9%が、1人または2人世帯となっています。このうち約半数は世帯主の年齢が65歳以上となっています。

世帯人員の状況

団地名	区分	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人以上世帯	世帯数合計	1人世帯の割合
淡輪住宅	公営	5	1	0	0	0	0	0	6	83.3%
		83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
深日小池谷住宅	公営	0	0	1	0	0	0	0	1	0.0%
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
緑ヶ丘	1号棟	41	14	3	1	2	0	0	61	67.2%
	2号棟	17	5	6	1	0	0	0	29	58.6%
	3号棟	17	6	6	1	0	0	0	30	56.7%
緑ヶ丘住宅合計	公営	75	25	15	3	2	0	0	120	62.5%
		62.5%	20.8%	12.5%	2.5%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%	
多奈川小田平住宅	改良	41	21	4	4	2	0	0	72	56.9%
		56.9%	29.2%	5.6%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
多奈川平野北住宅	改良	23	15	11	5	1	0	0	55	41.8%
		41.8%	27.3%	20.0%	9.1%	1.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計		219	87	46	15	7	0	0	374	58.6%
		58.6%	23.3%	12.3%	4.0%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%	

81.9%

1人世帯における世帯主65歳以上の割合 48.4%
2人世帯における世帯主65歳以上の割合 49.4%

出典：岬町資料

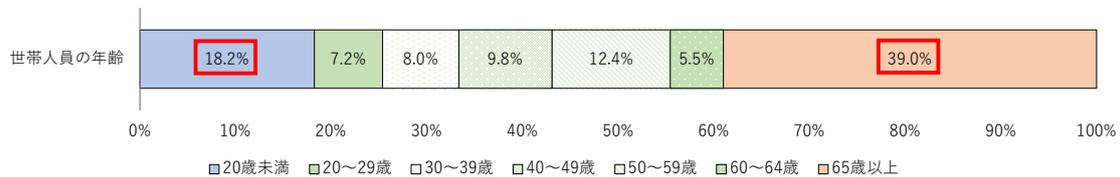
現況整理-資料番号[25]

公的賃貸住宅の状況（世帯人員の年齢）

町営住宅の居住者の年齢を見ると、65歳以上は39%、20歳未満は18.2%となっています。

世帯人員の年齢の状況

団地名	区分	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	世帯員合計
淡輪住宅	公営	0	0	0	0	2	0	5	7
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	71.4%	100.0%
深日小池谷住宅	公営	0	0	0	0	0	0	2	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
緑ヶ丘	公営	7	4	9	5	14	5	44	88
		8.0%	4.5%	10.2%	5.7%	15.9%	5.7%	50.0%	100.0%
		12	6	1	5	3	2	20	49
緑ヶ丘住宅合計	公営	24.5%	12.2%	2.0%	10.2%	6.1%	4.1%	40.8%	100.0%
		12	5	6	7	7	2	12	51
		23.5%	9.8%	11.8%	13.7%	13.7%	3.9%	23.5%	100.0%
緑ヶ丘住宅合計	公営	31	15	16	17	24	9	76	188
多奈川小田平住宅	改良	17	8	8	11	19	10	46	119
		14.3%	6.7%	6.7%	9.2%	16.0%	8.4%	38.7%	100.0%
多奈川平野北住宅	改良	33	6	9	15	7	6	35	111
		29.7%	5.4%	8.1%	13.5%	6.3%	5.4%	31.5%	100.0%
合計		112	44	49	60	76	34	240	615
		18.2%	7.2%	8.0%	9.8%	12.4%	5.5%	39.0%	100.0%



出典：岬町資料

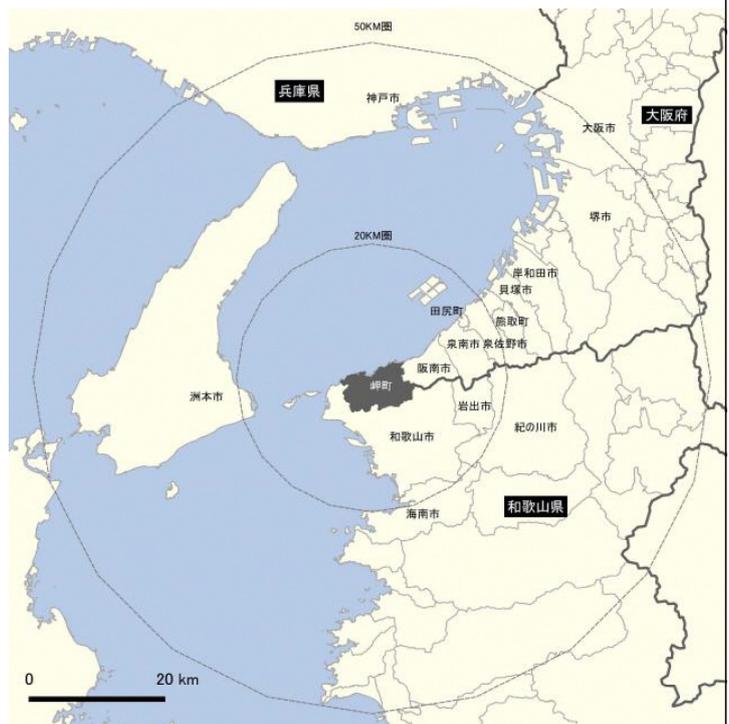
現況整理-資料番号[26]

まちの状況（位置）

本町は、大阪府の最南端に位置し、地形は東西10km、南北6kmにわたり、その面積は49.10km²で、全体の約80%が山地となっています。

東南は和泉山脈を境に和歌山に隣接し、西北一帯は大阪湾に面しており、きれいな海や美しい海岸線と和泉山系の豊かな緑に囲まれています。

また、南海電気鉄道本線や第二阪和国道等の交通網により、豊かな自然が享受できる暮らしを送りながら、大阪市中心部や和歌山市内へ通勤・通学が可能な地域といえます。



岬町位置図

現況整理-資料番号[27]

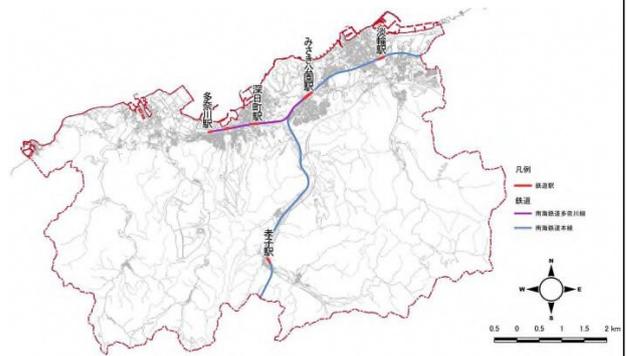
まちの状況（交通・まちの形成）

〈交通の状況〉

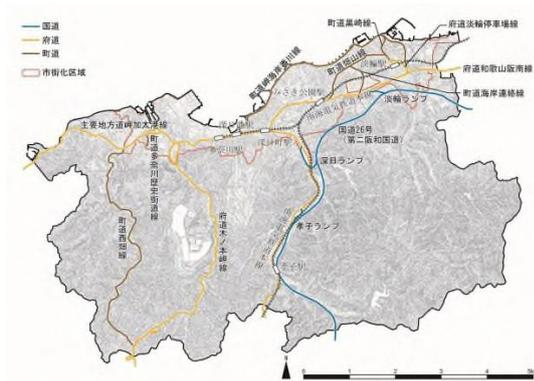
大阪と和歌山を結ぶ、南海電鉄本線や国道26号が南北に通じています。

〈まちの形成〉

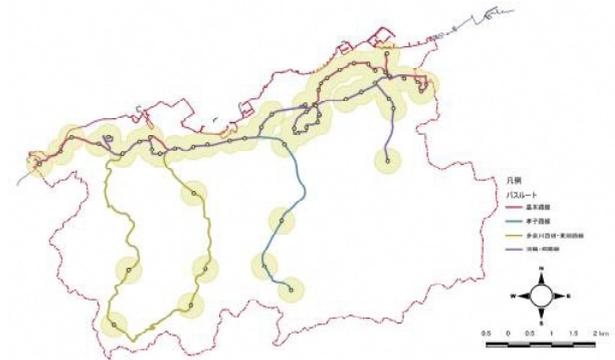
町内の既存市街地は、漁港周辺の旧集落地と丘陵部の新興住宅地に分けられ、線路や主要道路沿いにまちが形成されています。



公共交通の整備状況（鉄道）



主要道路図



公共交通の整備状況（バス）

出典：岬町都市計画マスタープラン p.29

現況整理-資料番号[28]

まちの状況（公園）

都市計画公園としては、本町のシンボルである総合公園の「みさき公園」（約33.8ha）、都市計画緑地としては広域公園の「せんなん里海公園」（約17ha）の2ヶ所があります。

これらは、ともに総合的な公園・緑地機能を有し、大規模で広域的なレクリエーション需要に対応しています。

また、身近な空間としての住区基幹公園や児童遊園の整備は、面的な整備がなされた望海坂地区等で充実しています。

「みさき公園」は令和2(2020)年3月末より南海電鉄(株)の事業撤退に伴い閉園していましたが、令和3(2021)年7月より岬町の管理・運営のもと「町立みさき公園」として一部が先行開園しています。

また、民間事業者との協力体制を築いた「新たなみさき公園」の全面開園に向けて、現在は事業者選定等の手続きを進めています。



せんなん里海公園



みさき公園

現況整理-資料番号[29]

住民意向

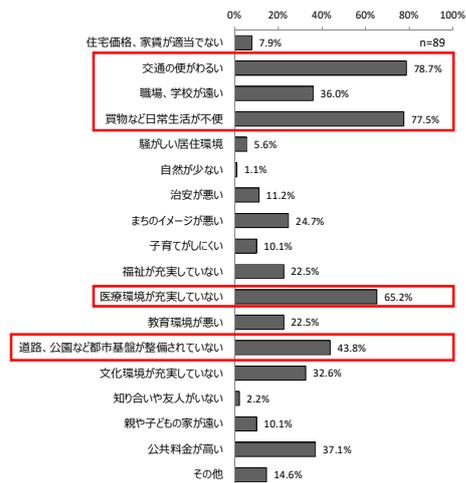
※平成23年時の調査結果等を用いて仮作成

〈まちの課題〉

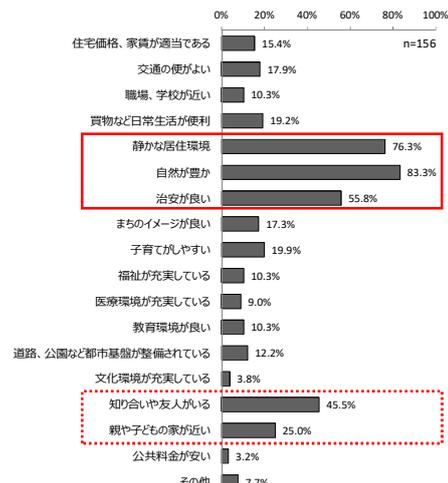
- ・通勤、通学などの移動の利便性
- ・生活サービス施設（商業・医療施設等）の立地といった生活利便性
- ・道路や公園の都市基盤

〈まちの魅力〉

- ・自然とのふれあい
- ・ゆとりある暮らし
(日当たり・風通し・景観・静かな居住環境、治安が良い)



住みよいまちであるとは思わない理由(R1年12月調査)



住みよいまちであると思う理由(R1年12月調査)

現況整理-資料番号[30]

事業者意向

※平成23年時の調査結果等を用いて仮作成

〈現状〉

住宅市場は厳しく、今あるストックを販売することが最優先。

〈需要について〉

こだわりのライフスタイルの実現を求める層への需要が高い。

→ 販売面積を広くすることで魅力を高めている。地域活動も活発。

→ 岬町自体の魅力を高めることが重要である。

自然を生かしたコミュニティをサポートする新たなタイプの高齢者向け住宅の供給へ需要も期待される。

現況整理-資料番号[31]

社会の状況

〈都市の状況〉

コンパクトシティや空き家対策といった、持続可能な社会の実現への取り組み

〈人の意識〉

自然災害や、感染症の拡大など、災害に対する関心の高まり

〈情報化社会の状況〉

生活をより良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーションの進歩
社会課題の解決をICT（情報通信技術）で推進



これらの社会的な変化は、「ワーク・ライフ・バランス」の考え方や、テレワークの導入などライフスタイルや価値観の多様化へとつながっています。

現況整理-資料番号[32]

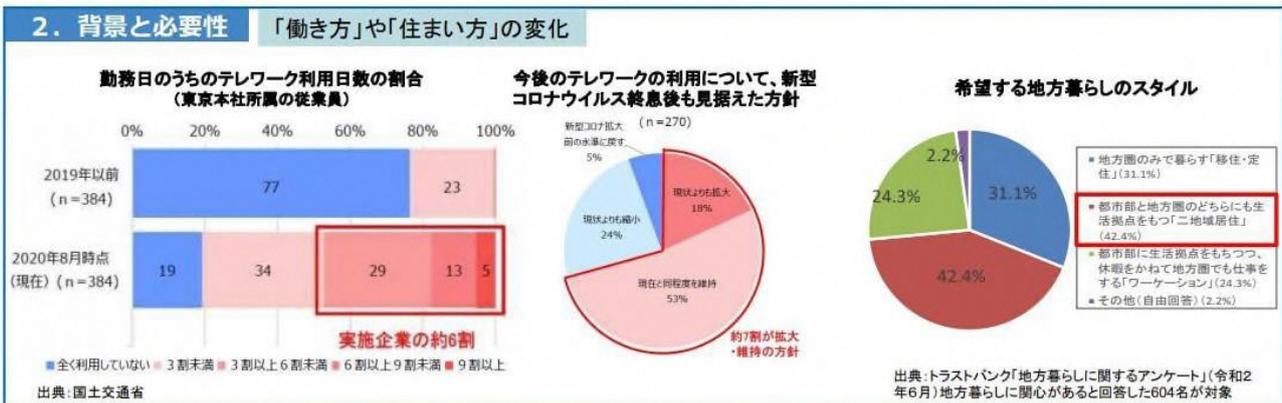
社会の状況

働き方の変化（テレワーク）

- ・東京本社所属のデータであるもの、テレワーク利用日数の割合が3割以上と回答した企業は約6割(2020年8月)
- ・終息後も見据えた方針では、約7割が拡大、維持の方針

住まい方の変化（二地域居住・地方暮らし）

- ・地方暮らしの関心の高まりとともに、希望する地方暮らしのスタイルとして二地域居住が4割を占める



※国土交通省 二地域居住等関連施策のご紹介 (令和3年3月9日資料) より